

緑の風 NEWS

JR東労組

NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union

2026年2月1日 No.61

2026 JR 総連春闘をたたかい抜こう！その②

未だに物価上昇が止まらず、生活不安がある中で安心して生活ができるように賃上げをかち取ろう！

経団連は、2026年春闘で経営側の指針となる「経営労働政策特別委員会報告（経労委報告）」を発表しました。

長沢副会長は「日本経済を強くするには継続的な賃上げが必要」とし、物価高の中で働き手の生活水準維持と人材の確保・定着を図る観点から、ベアの検討が「重要な柱」になると指摘、貢献度に応じた重点配分などの案を示しています。

しかし、経団連の姿勢は経済活性化を主目的とした賃上げであり、労働者の生活を守る観点は弱いと言えるのではないでしょう。私たちは労働者自身の生活実感や労働実感に基づいて要求し、労使の議論で決めるべきであり、国や経団連のさじ加減に左右されでは、私たちの生活は振り回されてしまいます。

2025年の年末手当では、会社は職場での苦労を「受け止める」としながらも、数字には表れませんでした。だからこそ、「賃金はたたかいとるもの」という原則に立ち、「労働組合の組織力」を高めて団体交渉に臨むことが重要です。JR東労組に結集し、2026JR総連春闘で満足できる賃上げを求め、声を上げましょう！

経団連が
賃上げを
求める理由



日本経済を
活性化させる



労働組合が
賃上げを
求める理由



「生活実感」
「労働実感」
を踏まえて
生活向上

賃金・生活を守るために、組織強化・拡大を実現しよう！